

「神との契約」

出エジプト記 19章4～8節

1

『あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に乗せて、わたしのもとに連れて来たことを見た。今、もしあなたがたが確かにわたしの声に聞き従い、わたしの契約を守るなら、あなたがたはあらゆる民族の中であって、わたしの宝となる。全世界はわたしのものであるから。あなたがたは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。』これが、イスラエルの子らにあなたが語るべきことばである。』モーセは行って、民の長老たちを呼び寄せ、【主】が命じられたこれらのことばをすべて、彼らの前に示した。民はみな口をそろえて答えた。「私たちは【主】の言われたことをすべて行います。」それでモーセは民のことばを携えて【主】のもとに帰った。

出エジプト19:4-8

2

契約を結んでくださる神

- 聖書の中身は2つの契約
- 旧約と新約、古い契約と、新しい契約
- 契約とは関係を結ぶこと
- 創造者である神と関係ない人間はいない。
- 「私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。」使徒17:28
- 神の形(イメージ)に創られた人間が、自分たちのイメージで神々や社会を作ってしまった。

3

契約を結んでくださる神

- 人間は神の愛と真理の結晶なのに、それを欲と偽り(うそ)のかたまりにしてしまった。
- 私たちは神に属していますが、**世全体は悪い者の支配下にあることを、私たちは知っています**。また、神の御子が来て、**真実な方を知る理解力を私たちに与えてくださったことも、知っています**。私たちは真実な方のうちに、**その御子イエス・キリストのうちにいるのです。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです**。子どもたち、偶像から自分を守りなさい。 1ヨハネ5:19-21

4

契約を結んでくださる神

- 神との関係こそがいのち、永遠の命！ヨハネ17:3
- 「御国が来ますように、御心が行われますようにではなく、「**自国が来ますように。ミーの心が行われますように**」、になってしまっている。
- 自然環境の破壊の前に、神との関係の破壊がある、それが罪。エコよりもエゴ。
- 今日の混乱を考える。人間のエゴ、プライドが何をもたらすか。
- 神との関係を破ることは、自分を破ること。神との関係を壊すことは、自分を壊すこと。(罪)

5

当時の国家間の条約に似ている

- 神はアブラハムに聖書(人類の歴史)のあらずじとなる偉大な約束を与えた。創世12章
- アブラハムの子孫による、イスラエルという国と全人類の祝福。
- なぜイスラエル、なぜアブラハム？
- 弱かったから。申命7:7-8
- 一つの約束は成就した、もう一つは現在進行中。

6

当時の国家間の条約に似ている

- 神の契約の形式は、当時の「宋主権条約」に似ている。当事者、前書き、条件、約束、罰則契約書の保管
- 『あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に乗せて、わたしのもとに連れて来たことを見た。 出19:4
- 「わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、【主】である。 出20:2

7

当時の国家間の条約に似ている

- 神の契約の形式は、当時の「宋主権条約」に似ている。通常、契約には、当事者、前書き、条件、約束、罰則契約書の保管があった。
- 『あなたがたは、わたしがエジプトにしたこと、また、あなたがたを鷲の翼に乗せて、わたしのもとに連れて来たことを見た。 出19:4
- 「わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、【主】である。 出20:2

8

当時の国家間の条約に似ている

- 契約の内容(条件など)は、出20章-申命記
- 契約書はそれぞれの神殿に保管される
- イスラエルの場合は、主の幕屋(神殿)、主の箱の中に2枚。
- 契約は定期的に読まれた。
- 似ていないところ。通常、宗主国家が得するような内容。神の契約は違う！
- 「農民は生かしても、殺してもならない。」家康

9

当時の国家間の条約に似ている

これを守り行いなさい。そうすれば、それは諸国の民にあなたがたの知恵と悟りを示すことになり彼らはこれらすべての掟を聞いて、「この偉大な国民は確かに知恵と悟りのある民だ」と言うであろう。まことに、私たちの神、【主】は私たちが呼び求めるときいつも近くにおられる。このような神を持つ偉大な国民がどこにあるだろうか。また、今日私があなたがたの前に与えようとしている、このみおしえのすべてのように正しい掟と定めを持つ偉大な国民がいったいどこにあるだろうか。 申命4:6-8

10

聖書の教えの中心は神との関係

- 契約は当事者の立場、利益を守るため。都合よく変えたりしないため。神のためではない。
- 人間は弱いから、気分、感情、状況に流されやすい。感情よりも確かなもので結ばれている必要がある。
- 人間は、神との関係を宗教(儀式)にしてしまう傾向がある。

11

聖書の教えの中心は神との関係

- **いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。御霊を消してはいけません。預言を軽んじてはいけません** 1テサロニケ5:16-20
- **キリストのことばが、あなたがたのうちに豊かに住むようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、忠告し合い詩と賛美と霊の歌により、感謝をもって心から神に向かって歌いなさい。ことばであれ行いであれ、何かをするときには、主イエスによって父なる神に感謝し、すべてを主イエスの名において行いなさい。** コサイ3:16-17

12